

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちは。梅雨の季節になりました。くれぐれもご自愛ください。弘法大師の生涯をお伝えしている今年のかかわら版。今月は、円熟期の業績についてです。

★満濃池(まんのういけ)

弘仁九年(八一八年)、四十五歳の時に高野山を開山。以後、空海は数々の偉業を成し遂げます。

弘仁十二年(八二一年)、空海四十八歳。空海の故郷、讃岐(香川県)の郡司(役人)が朝廷に満濃池と

いう溜池の堤防修築を願ひ出しました。この堤防は三年前に決壊。技術、人手、資金が足りず、修築の見込みが立たなくなりました。

しかも、空海を築満濃池別当(監督官)に迎えたいとの申し出。空海は僧であると同時に、一流の知識人、文化人。唐で土木工事などの知識や技術も身に付けて帰国。また、讃岐出身の著名人である空海が別当となれば、人も資金(寄附)も集まるとの読みでした。



朝廷は願ひ出を受け、直ちに太政官符を発布。空海を讃岐に派遣し、修築に国費も用意しました。空海は約三ヶ月で修築を終え、満濃池のほとりに神野寺(じんやじ)を建立。修築完了とその後の安寧を祈願しました。



弘仁十二年(821)48歳 讃岐国の灌漑用溜池、満濃池の改修工事を指導監督、難工事を三ヶ月で完成させた。《覚鳳寺収蔵》

★ゆる抜き

満濃池の修築は現在のダム工法と同じ手法で行われました。アーチ式堤防や水抜きの土木工学的技術が駆使され、現在でも日本一の溜池。灌

漑面積は四六〇〇平方キロメートルに及びます。毎年、空海の誕生日(六月十五日)に取水が始まり、当日は大勢の人が神野寺を参拝。空海に感謝して堤を開くゆる抜きという行事が行われています。

★東寺(とうじ)

弘仁十三年(八三二年)、東大寺に灌頂道場真言院を開創。空海四十九歳。

弘仁十四年(八三三年)、嵯峨天皇が京都の東寺(教王護国寺)を真言密教の根本道場として空海に下賜。空海五十歳。嵯峨天皇はその直後に退位し、淳和(じゅんな)天皇が即位しました。

東寺は平安京を護るために、遷都の二年後(七九六年)、南大門(羅城門)近くで建立が始まった官寺です。桓武天皇が発願し、平城・嵯峨・淳和天皇時代の三十年を経て、まだ伽藍は完成していませんでした。天長元年(八二四年)、空海は造東寺別当に任命され、伽藍の完成に腐心しました。

修行の拠点である高野山、都での活動拠点としての東寺を得て、空海はますます積極的に社会貢献と宗教活動に邁進していきました。

★綜芸種智院(しゅげいしゅちいん)

天長五年(八二八年)、藤原三守(ふじわらみもり)という貴族が、東寺に隣接する私邸と敷地を空海がかねてから構想していた庶民の学校



天長五年(828)55歳 嵯峨天皇より賜った京都東寺の隣にわが国最初の庶民の学校「綜芸種智院」を開設する。《覚鳳寺収蔵》

★弘法大師の晩年

弘法大師生涯絵図を所蔵する覚鳳寺、別名寅薬師。今月は満濃池修築と綜芸種智院での講義風景です。来月は空海の晩年と入定(にゅうじょう)をお伝えします。乞う、ご期待。

弘法大師生涯絵図を所蔵する覚鳳寺、別名寅薬師。今月は満濃池修築と綜芸種智院での講義風景です。来月は空海の晩年と入定(にゅうじょう)をお伝えします。乞う、ご期待。